



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 興研株式会社

コード番号 7963 URL <https://www.koken-ltd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村川 勉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 長坂 利明 TEL 03-5276-1911

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	5,155	29.3	637	250.8	633	254.3	489	311.8
2019年12月期第2四半期	3,986	△2.5	181	△31.0	178	△25.6	118	△43.2

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 449百万円 (491.9%) 2019年12月期第2四半期 75百万円 (△64.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	97.75	—
2019年12月期第2四半期	23.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	18,956	10,119	53.4	2,021.60
2019年12月期	18,338	9,796	53.4	1,956.95

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 10,119百万円 2019年12月期 9,796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 2020年12月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

連結通期業績予想につきましては、現段階で合理的な業績予想を行うことが困難なことから未定とし、記載して
おりません。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。なお、該当理由につきましては
は、添付の資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する
説明」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2 Q	5,104,003株	2019年12月期	5,104,003株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	98,108株	2019年12月期	98,108株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2 Q	5,005,895株	2019年12月期 2 Q	5,008,919株

(注) 2020年12月期第2四半期の期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）の算定上控除する自己株式には、「株式給付信託（BBT）」及び「株式給付信託（J-E S O P）」の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有している当社株式46,200株を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付の資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. 補足情報	9
(1) 個別経営成績	9
(2) 連結品種別売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年1～6月)は、新型コロナウイルス感染症の拡大により国内外の経済活動が制限されたことから個人消費や企業収益などが急減し、景気は大幅に悪化しました。緊急事態宣言が解除されて以降、国内の経済活動は徐々に再開されていますが、回復には長い期間を要する見込みで、先行きは厳しい状況が続くと予想されます。

こうした状況の中、マスク関連事業においては、感染症から日本の医療機関を守るため、当社グループ国内、海外の生産拠点における使い捨て式防じんマスク「サカキ式ハイラック350型」(米国NIOSH規格N95・国家検定規格DS2合格品)の増産を1月後半より開始しました。その後、政府からの増産要請もあり、フル稼働を継続して医療機関への供給を増やすとともに、既存顧客である製造業等への納入の維持にも努めました。

その他事業におきましては、訪問営業の機会確保が難しい状況下、代理店と情報を共有した協働営業を進めた結果、戦略商品であるオープンクリーンシステム「KOACH」と自動ブラッシング機能付き内視鏡洗浄消毒装置の販売は、期初計画には至らなかったものの、前年同四半期実績を上回る売上を確保しました。

その結果、売上高は51億55百万円(前年同四半期比29.3%増)、営業利益6億37百万円(同250.8%増)、経常利益6億33百万円(同254.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億89百万円(同311.8%増)となり、全体としては売上高、利益ともに、期初計画、前年度実績を上回りました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

(マスク関連事業)

N95、DS2の両規格に合格している「ハイラック350型」は、高フィット性等の高機能、高性能が評価され、保健所の8割、感染症指定医療機関の6割で採用されていましたが、医療機関におけるN95マスクは、平時においては大量に使用されるものではなく、「ハイラック350型」についても同様でした。今回の感染症拡大により、保健所、感染症指定医療機関での使用の急増、感染症指定医療機関以外の施設での患者受入れ開始、更には外国製マスクの輸入が停止されたことも加わり、N95マスクの不足が深刻化しました。このような状況の中、当社グループは医療機関を守るため、「ハイラック350型」の緊急増産及び緊急性の高い機関への分割出荷の体制をとり、マスクメーカーとして医療崩壊防止に最大の努力をいたしました。なお、産業用の防じんマスク、防毒マスク、電動ファン付き呼吸用保護具等の需要については、当四半期に入っても目立った落ち込みは見られず堅調に推移しました。

これらの結果、当事業の売上高は45億71百万円(同29.7%増)となりました。

当社グループは、N95マスクが不足している現況に鑑み、当該マスクの国内生産設備の増設を既に決定し、本年8月末頃より順次稼働させるための準備を進めております。なお、4月16日開示の「医療機関向け使い捨て式防じんマスク用生産設備の増設に関するお知らせ」時点では、生産設備の増設の候補地を神奈川県内としておりましたが、立地条件等を検討した結果、群馬県みどり市にある当社群馬テクノヤード内への増設に変更いたしました。その他の予定につきましては変更ありません。

(その他事業/環境関連事業等を含む)

オープンクリーンシステム「KOACH」につきましては、営業活動の機会損失は避けられず、販売件数は前年同四半期の2割減となりましたが、導入内定案件を確実に受注に結び付けたこと及び大型機種「フロアコーチ」の納入が続いたことから、販売台数は昨年並みを確保し、売上高は1割増の成果が得られました。なお、本年6月には、「KOACH」をベースに医療関係者を守ることができるウイルス感染対策用「Stand KOACH Mz」を開発し、発売いたしました。今後、医療機関に紹介し、実用性、有効性の検証に注力いたします。(詳細は6月25日にリリースしております「新型コロナウイルス感染症対策の新製品「Stand KOACH Mz」の開発」をご参照ください)

自動ブラッシング機能付き内視鏡洗浄消毒装置「鏡内侍II G」につきましては、同様に病院への訪問営業は自粛せざるを得ませんでしたが、既存顧客の更新需要とクリニックを中心とした新規需要の掘り起こしを行い、売上を伸ばしました。

これらの結果、当事業の売上高は5億84百万円(同26.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、189億56百万円（前連結会計年度末183億38百万円）6億18百万円増加いたしました。これは主に、流動資産が現金及び預金と電子記録債権の増加等により6億13百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、88億37百万円（前連結会計年度末85億42百万円）となり2億94百万円増加いたしました。これは主に、流動負債が1年内返済予定の長期借入金の減少等により3億15百万円減少したことと、固定負債が長期借入金の増加等により6億10百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、101億19百万円（前連結会計年度末97億96百万円）となり、自己資本比率は53.4%（前連結会計年度末53.4%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、18億9百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億17百万円増加いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は5億48百万円（前年同四半期は15億83百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が6億32百万円となったことと、減価償却費2億87百万円、売上債権の増加額1億17百万円、法人税等の支払額1億33百万円、たな卸資産の増加額1億67百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億65百万円（前年同四半期は19百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1億82百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は59百万円（前年同四半期は8億46百万円の支出）となりました。これは主に長期借入による収入13億円、配当金の支払額1億25百万円、長期借入金の返済による支出12億58百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の拡大が第2四半期に入っても続いていることから、医療機関での対策用マスクの需要は高止まりしており、この傾向は第3四半期以降も続く予想されます。その一方で、製造業で使用される産業用マスクについては、第2四半期まではマスク不足の懸念等から緊急的な需要が発生し、前年同四半期実績を上回りましたが、直近の足もとでは受注が前年対比減少傾向を示しております。また、新型コロナウイルス感染症の長期化によって経済活動全体が縮小することにより、その他事業へのマイナス面の影響も危惧されます。

このように、当社グループの業績に対してはプラス、マイナス両方の要因が混在する不確定要素が多く、業績予想の算定が困難であるため通期の連結業績予想及び期末配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

なお、通期連結業績予想及び期末配当予想の公表が可能となりましたら、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,492,229	1,809,776
受取手形及び売掛金	2,753,076	2,563,513
電子記録債権	415,008	722,553
商品及び製品	686,201	595,587
仕掛品	343,527	475,477
原材料及び貯蔵品	569,719	687,325
その他	125,880	141,058
貸倒引当金	△4,000	—
流動資産合計	6,381,644	6,995,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,465,156	3,377,562
機械装置及び運搬具(純額)	492,360	442,434
土地	5,956,545	5,952,398
建設仮勘定	56,440	196,077
その他(純額)	483,888	491,202
有形固定資産合計	10,454,390	10,459,675
無形固定資産	44,666	42,560
投資その他の資産		
繰延税金資産	427,618	437,751
保険積立金	860,882	861,824
その他	175,145	163,851
貸倒引当金	△6,000	△4,000
投資その他の資産合計	1,457,646	1,459,427
固定資産合計	11,956,704	11,961,663
資産合計	18,338,348	18,956,955

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	218,197	335,585
短期借入金	1,400,000	1,495,000
1年内返済予定の長期借入金	1,632,000	1,077,000
賞与引当金	235,000	226,000
役員賞与引当金	27,650	32,000
未払法人税等	154,012	173,519
その他	853,682	865,723
流動負債合計	4,520,543	4,204,828
固定負債		
長期借入金	2,984,500	3,581,000
役員退職慰労引当金	646,200	664,700
株式給付引当金	46,199	59,056
役員株式給付引当金	16,782	20,938
その他	327,812	306,501
固定負債合計	4,021,494	4,632,196
負債合計	8,542,038	8,837,025
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,265	674,265
資本剰余金	527,963	534,375
利益剰余金	8,707,097	9,070,248
自己株式	△146,557	△152,970
株主資本合計	9,762,768	10,125,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,227	6,416
繰延ヘッジ損益	△37,626	△36,265
為替換算調整勘定	52,941	23,860
その他の包括利益累計額合計	33,542	△5,988
純資産合計	9,796,310	10,119,930
負債純資産合計	18,338,348	18,956,955

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	3,986,713	5,155,595
売上原価	2,072,512	2,628,381
売上総利益	1,914,200	2,527,214
販売費及び一般管理費	1,732,385	1,889,478
営業利益	181,815	637,735
営業外収益		
補助金収入	—	21,163
保険返戻金	19,374	—
その他	24,993	10,831
営業外収益合計	44,368	31,995
営業外費用		
支払利息	24,318	21,933
その他	23,181	14,673
営業外費用合計	47,499	36,607
経常利益	178,683	633,124
特別損失		
固定資産除売却損	784	185
特別損失合計	784	185
税金等調整前四半期純利益	177,898	632,938
法人税、住民税及び事業税	34,100	152,000
法人税等調整額	24,986	△8,366
法人税等合計	59,086	143,633
四半期純利益	118,811	489,305
親会社株主に帰属する四半期純利益	118,811	489,305

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	118,811	489,305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,224	△11,811
繰延ヘッジ損益	△24,745	1,361
為替換算調整勘定	△7,850	△29,080
その他の包括利益合計	△42,820	△39,530
四半期包括利益	75,991	449,774
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,991	449,774
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	177,898	632,938
減価償却費	284,559	287,582
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,000	△6,000
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	18,300	18,500
賞与引当金の増減額(△は減少)	△92,000	△9,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,750	4,350
株式給付引当金の増減額(△は減少)	3,399	12,857
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	1,323	4,155
受取利息	△67	△69
受取配当金	△1,731	△1,781
支払利息	24,318	21,933
売上債権の増減額(△は増加)	1,204,498	△117,981
たな卸資産の増減額(△は増加)	△221,932	△167,394
仕入債務の増減額(△は減少)	54,924	122,360
その他	235,805	△99,237
小計	1,674,547	703,212
利息及び配当金の受取額	1,799	1,851
利息の支払額	△24,487	△22,622
法人税等の支払額	△68,594	△133,794
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,583,264	548,647
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△172,821	△182,864
有形固定資産の売却による収入	149,777	27,791
その他	3,796	△10,152
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,247	△165,226
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	95,000
長期借入れによる収入	—	1,300,000
長期借入金の返済による支出	△642,000	△1,258,500
自己株式の取得による支出	△14,748	—
配当金の支払額	△125,990	△125,422
その他	△63,519	△70,781
財務活動によるキャッシュ・フロー	△846,258	△59,703
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,037	△6,171
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	716,720	317,546
現金及び現金同等物の期首残高	1,180,916	1,492,229
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,897,636	1,809,776

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 個別経営成績

(千円未満切捨て)

区分	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	増減率 (△は減)
	金額	金額	
売上高	3,986,713	5,132,727	28.7%
営業利益	149,220	618,554	314.5%
経常利益	160,891	624,939	288.4%
四半期純利益	101,019	481,121	376.3%

(2) 連結品種別売上高

(千円未満切捨て)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)		比較増減 (△は減)
	金額	比率	金額	比率	
	千円	%	千円	%	千円
防じんマスク	2,077,490	52.1	3,014,266	58.5	936,775
防毒マスク	842,318	21.1	920,677	17.9	78,358
防じんマスク・防毒マスク 関連その他製品	603,789	15.2	636,178	12.3	32,389
小計	3,523,598	88.4	4,571,121	88.7	1,047,523
その他	463,114	11.6	584,473	11.3	121,358
合計	3,986,713	100.0	5,155,595	100.0	1,168,881
(上記のうち輸出分)	(84,854)	(2.1)	(88,364)	(1.7)	(3,509)